

プログラミングコンテスト用環境構築方法

旭川高専パソコン部

1 Windowsでの構築方法

Windowsで公式サイトからダウンロードして来たLinux環境を作るためには、**rawrite32**というフリーソフトを用いると楽です。

以下で、ソフトの使い方を書いていきます。

2 接続前の前準備

まず、以下の全ての項目が問題ないことを確かめて下さい。

- (1) 旭川プロコン公式サイトから環境をダウンロードして来た「U-16 旭川プログラミングコンテスト Linux環境.zip」があることを確認
- (2) Linuxを焼くための8G以上(8Gちょっつきりだと使えないモノがあるので注意^{*1})USBメモリがある(USBにLinuxをインストールしてしまうと、**データ保存には使えない**ので注意！)。
- (3) パソコンにLinuxを焼くため以外のUSBメモリや外付けHDDなどのUSBポートを使う機器が接続されていない(間違えると、**別のUSBメモリなどにLinuxをインストールしてしまう可能性がある**ため危険である！)。
- (4) 時間がある環境(わりと時間がかかるのであまり時間が無いときはやめましょう)。

全部確認出来たら次の項目に進みます。

3 USBにインストール

では、実際に作成していきましょう。ダウンロードした「U-16 旭川プログラミングコンテスト Linux環境.zip」を解凍すると、以下の様なファイルが2つあると思います(アイコンは環境によって変わります)。「u-16AsahikawaEnv」

^{*1} 7.5Gのイメージで作成されているので、容量を1000×1000×1000で計算していた場合は、実質7.3G分程度しか使えない。

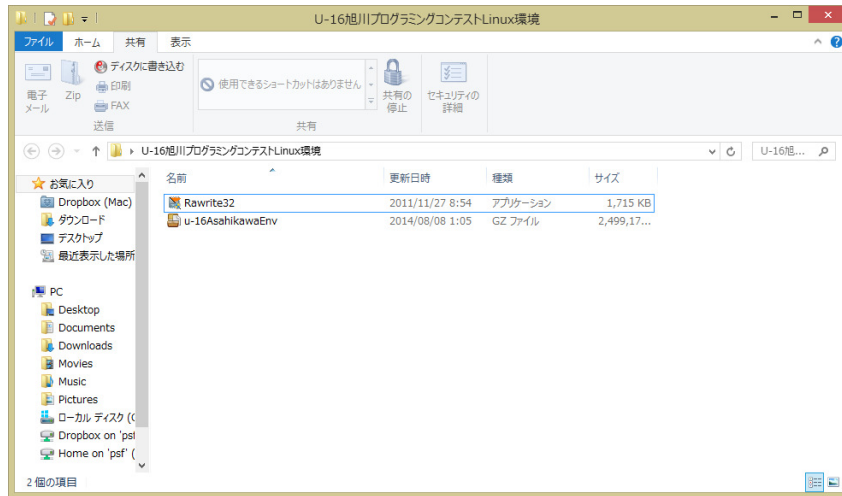


図1 解凍した画面

と「Rawrite32」が入っているのを確認した後、「Rawrite32」を起動します。そうすると、以下の様な起動画面が出てきます。ここで、「開く(O)...」を選

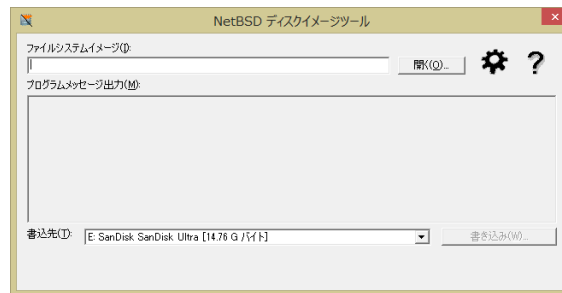


図2 rawrite32 起動画面

択して、同じフォルダにある「u-16AsahikawaEnv」を選ぶとしばらく待ったら以下の様な画面になります*2。「書き込み(W)...」をおすと、書き込みが始

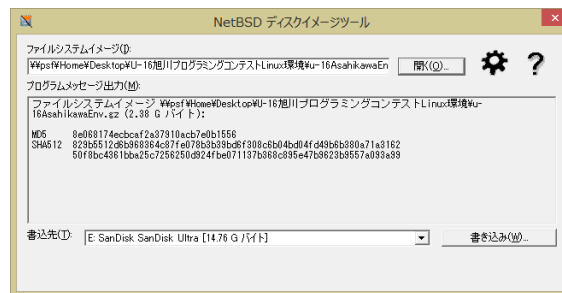


図3 書き込み直前画面

まります。しかし、そのまえに USB メモリの中身を全て消去するか聞かれる

*2 これは、講習会で使用した USB メモリの場合で種類が違う場合は書込先が変更されます

ので「はい」を選んで下さい。そうすると以下の様な書き込み画面がでます(青いゲージはわりと適当なので全て埋まっても書き込み最中です)。

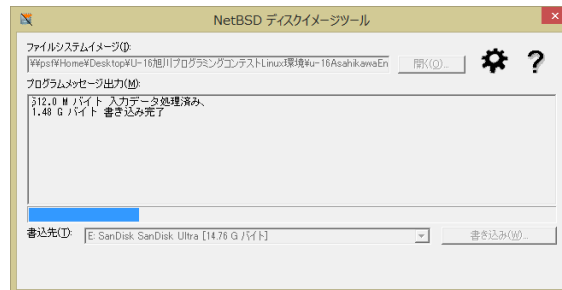


図 4 書き込み画面

それが全て終われば、先ほどの書き込み直前画面に戻ります。これで成功です。起動してみてください。